

	提 案 名	提 案 団 体 名		
		代表者氏名	所 属	
13	「Jazz no Miya!」 Jazzによる宇都宮中心市街地の活性化計画 ジャズノミヤ	宇都宮大学 建築材料研究室		
		青沼 隆嗣	宇都宮大学大学院 工学研究科	
			指導教官 氏 名	藤本 信義

計画案要旨

宇都宮といえば、餃子が全国でも有名である。しかし、餃子だけではなくジャズの存在も忘れてはいけない。宇都宮市は名サックスプレーヤーでもある渡辺貞夫氏だけでなく、渡辺文男氏、高内春彦氏、野中英士氏、竹野昌邦氏、高橋幹雄氏など、有名なジャズプレーヤーを数多く輩出している。

近年、宇都宮市の軽音活動は非常に活発になってきており、また宇都宮市のほうでも、ジャズのあるまちづくりとして、景観整備や助成金などで活動の後押しを行っており新たな地域活性化事業として期待されている。

本提案は、学生の視点から宇都宮市のジャズによるまちづくりを企画したものであり、提案にいたるまでの調査、分析、考察などもあわせて行った。

1. うつのみやジャズミュージアム

提案内容 : シンボリック的存在となるジャズミュージアムを市街地中心に計画

手 法 : 地図上の4ヶ所、駐車場が固まっている土地を計画地とする。

1Fを駐車場として残し、2Fをジャズ・ミュージアムとする。

ジャズ・ミュージアムの設計を行う。

システム : 駐車場とミュージアムで収益を図る(来場者からは駐車料金をとらない)。

(駐車料金・スタジオや店舗の貸し料金・ミュージアム来館料等)

運営管理はまちづくり委員会・ジャズ協会・NPO 等で行う。

2. ストリート・ジャズ・ミュージアム (駅東)

提案内容 : 駅東の遊歩道及び隣接する公園・建物を利用したミュージアム。

< 現状 >

住宅や無計画に開けた土地等
家のプライバシーが少ない。
通りの閑散さを助長している。



< 展示内容・手法 >

Low exhibition
プライバシーを確保し、日照の妨げ、
閉鎖的にならないような低い展示。

派手な大型建物、駐車場等
整備された通りの中で派手な建物や
駐車場が景観の障害に。



High exhibition
巨大展示物で、目隠しをし、インパクトを出す。

公園や通りのやや広いスペース
せっかくの広いスペースを街で活用することが少ない。



Event space
イベントを行い、生演奏によるサウンドスケープを演出。

3. ジャズ BOX

提案内容 : 市民の日常的なジャズとの触れ合いを誘う、2つのジャズ・ボックス

ユニット・ジャズ・ボックス

設置場所：公園や周りに住宅のない所

ふたを開けるとジャズが流れたす。

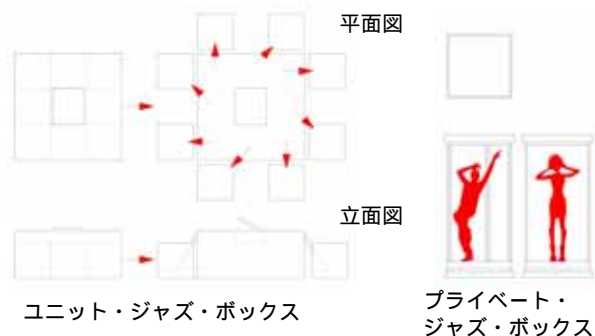
ユニットが椅子とテーブルになり、

ボックスを囲んで人々が集まれる。

プライベート・ジャズ・ボックス

設置場所：通り沿い、公園の隅等

一人でボックスに入り、自由にジャズを楽しめる。



4. ジャズ・ライトアップ計画

提案内容 : 駅・大通り周辺を中心にジャズ・カクテルと絡ませて照明計画を行う。

各通りの現状

シンボルロード

街路樹やデザインにより、
昼間は穏やかで人通りもまばら。
夜になるとかなり暗くなる。



照明コンセプト

街路樹や足元にやや明るい
ライトを配置。
若者やカップルなども歩ける、
大人な雰囲気を作る。

オリオン通り

アーケードが特徴的。日によるが、
昼間はかなり人通りが激しい。
夜はがらんとした寂しい雰囲気。



アーケードにソフトな照明を入れ、
ジャズや音楽の映像を映し出す。
ちょっとした夜遊び空間的雰囲気、
昼とは違った通りの演出。

その他幹線道路

昼は交通量が多く、時間帯により
人通りも多くなる。
夜は昼に比べ静かになる。



やや明るめの照明をし、
飲み屋街には東西で異なる照明、映像
演出をする。
眠らない街宇都宮を演出

5. ジャズマップの更なる充実と広報力の拡大

提案内容 : 1～4の提案を含めた、より詳細で分かりやすいジャズマップの作製

手 法 : ジャズ協会加盟店の増大、加盟促進活動

マップに掲載する加盟店のPR、イベントや活動のPR 作製

実現するのであれば、1～4までの提案もマップに盛り込む

ジャズマップの普及（設置場所の増加）

インターネットサイトのリンクを分かりやすく、より多く